

各位

上場会社名  
代表者  
(コード番号  
問合せ先責任者  
(TEL

イハラサイエンス株式会社  
代表取締役社長 中野琢雄  
5999)  
取締役常務執行役員 真鍋秀郎  
03-5742-2701)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年11月6日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

|                         | 売上高    | 営業利益  | 経常利益  | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|--------|-------|-------|-------|------------|
|                         | 百万円    | 百万円   | 百万円   | 百万円   | 円 銭        |
| 前回発表予想(A)               | 12,000 | 2,050 | 2,000 | 1,150 | 87.45      |
| 今回発表予想(B)               | 10,500 | 1,540 | 1,450 | 800   | 61.93      |
| 増減額(B-A)                | △1,500 | △510  | △550  | △350  | ――         |
| 増減率(%)                  | △12.5  | △24.9 | △27.5 | △30.4 | ――         |
| (ご参考)前期実績<br>(平成20年3月期) | 13,805 | 2,768 | 2,675 | 1,455 | 109.29     |

### 修正の理由

当第3四半期の連結業績につきましては、売上高及び利益とも予想通りに推移しております。しかしながら足元の状況は、ほとんどの製造業が減産、生産調整を行ない、各分野において設備投資の凍結、延期の決定がされ、雇用環境は急激に悪化する等々、不透明感を一段と強めております。

当社グループは半導体・液晶製造装置関連や工作機械・建設機械関連の業界を主要な市場としております。従いまして、当業界の急激な生産調整や設備投資の凍結、延期は当社グループにも大きい影響を及ぼします。これらの業界における第4四半期の受注動向予測は、非常に厳しいものがあります。

このような状況の中、当社グループでは従来以上にお客様のコストダウンに貢献できる配管システムの浸透をはかる一方、製造コスト及び経費の削減努力を続けておりますが、第4四半期における当社を取巻く経営環境は、極めて厳しい状況で推移すると予想されることから、売上高につきましては前回予想から15億円減収の105億円となる見込みであります。利益につきましては、営業利益は前回予想から5億10百万円減益の15億40百万円、経常利益は前回予想から5億50百万円減益の14億50百万円、当期純利益は前回予想から3億50百万円減益の8億円となる見込みであります。

(注)上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上